

会派副幹事長/総務常任委員会所属/2期目 38歳
 関西学院中学部・関西学院高等部・関西学院大学経済学部卒業/民間企業でシステムエンジニアとして従事

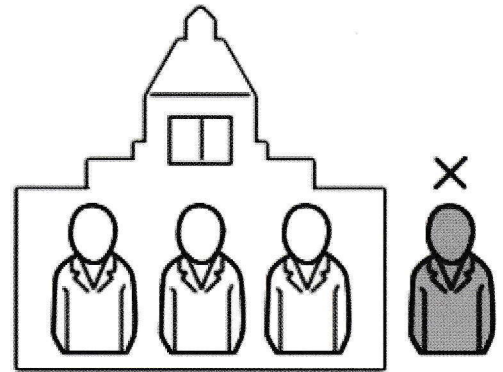
会派幹事長/民生文教常任委員会委員長/1期目 30歳
 明石高専卒業/民間企業で橋梁設計士として従事

議員報酬の削減を決定 (3月議会)

「日本維新の会・日本共産党・あしやしみんのこえ」で提出した議員報酬削減案が全会一致で可決され任期満了まで (13ヶ月間) 5%の削減が行われます。

削減額はおよそ 1145 万円 (3月当時)。

提出理由は新型コロナウイルスが市民生活に長期的な財政影響を与えていること、また行政の財政支出も増大していることであり、創出された財源の使用用途は新型コロナウイルス対策費とするよう要望しました。

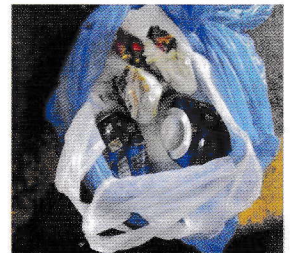


議員 1 人あたり約 1014 万円の議員報酬が支払われるため、実質議員 1 人の削減と同等の効果があります

指定ごみ袋の導入を決定

民生文教常任委員会にて、指定ゴミ袋は販売価格を抑えるよう要望しました。6月議会で「ゴミ分別の意識向上」を目的として指定ごみ袋の導入が進んでいます。

※スケジュールは下記画像の通り、令和5年度4月試験的実施、10月本格実施。



芦屋市のゴミ分別の一例

指定ごみ袋導入スケジュール・及び周知方法(案)

実施項目	令和4年度					令和5年度										
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
デザイン募集	←→															
デザイン決定				★												
指定ごみ袋仕様公開				★												
製造業者の認定					←→											
指定ごみ袋の製造					←→											
指定ごみ袋の販売										←→						
周知啓発	←→															
指定ごみ袋制度の試行開始											★					
指定ごみ袋制度の本格実施																★

指定ごみ袋仕様(案)

破れにくく環境対策を取った指定ごみ袋の導入をします。

項目	検討中の家庭系指定ごみ袋仕様
タイプ	芦屋市専用指定ごみ袋
対象	燃やすごみ・その他燃やさないごみ(ステーション・バイブライン両方) 今後の分別状況によっては対象を増やす場合があります。
厚さ	0.025mm 厚くて破れにくい袋を想定 (参考 神戸市・西宮市 燃やすごみ用指定ごみ袋0.02mm)
価格	市場価格。有料化(市の手数料を上乗せすること)はしません。
種類	1種類(サイズは複数用意)
サイズ	45L、30L、小サイズ 形状はU字型 ただし45Lは平袋と併用
環境対策	CO2排出抑制の工夫 (従来のごみ袋より10%以上の脱炭素対策を取っているごみ袋)
その他	事業者のごみ、持込みごみは中身が見えることが条件となります。デザインは公募します。

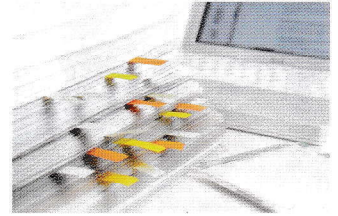
周知方法

集会所での説明会	各種団体への説明	SNS(動画)	ごみハンドブック全戸配布	広報番組	広報特集ページ	パッカー車等への啓発掲載	市内掲示板	市内協力店舗でのチラシ置き	小中学校等でのチラシ配布
随時実施予定	随時実施予定	随時実施予定	令和5年3月配布予定	令和5年3月放映予定	令和5年3月号掲載予定	随時実施予定	随時実施予定	随時実施予定	随時実施予定

他、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらイベント等を実施します。

一般質問
R4.6.14

SIBの導入を契機とした補助金制度の見直しについて 大原裕貴



質問の背景

市の補助金制度は市財政（決算）の10%弱と大きなウェイトを占めるが、その成果や取組内容が見えづらい。



Q. 「芦屋市市民提案型補助金」制度を更に拡充させ、地域SIBを目指すことで**既存の補助金制度の見える化**を進められないか。

A. 補助金の成果と取組内容の見える化は重要だと考えており、制度の取組内容の発信に努める。また市民活動センターではコミュニティビジネスの相談等も行って
いるため、各所との共有の仕組みの構築に取り組んでいく。

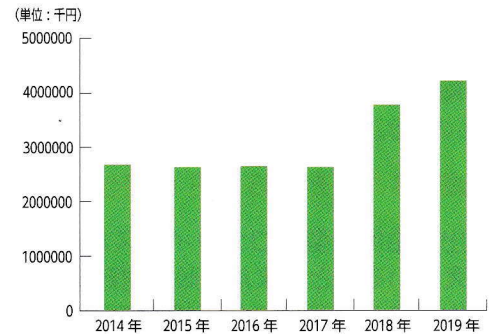


今後の展望

愛媛県西条市では地域SIBを導入し、市民参画の促進や見える化に繋がった。
導入が進めば、芦屋市でもさらに**地域住民が主体的に参画できる仕組みが出来上がります。**

その他の質問

野良猫に対する対応の強化について



補助費の推移。歳出の約10%を占めるため、30億円近い支出となっている。

一般質問
R4.6.14

3歳児保育について 浅海 洋一郎



質問の背景

市内の幼稚園児は10年間で半以下となり、**新入園児が10人しかいない幼稚園もあり、幼稚園児数が急激に減少している。**



Q. 現在岩園幼稚園で試験的に行われている3歳児保育の実施を他の園にも広げて園児確保に繋がらないか。

A. 3歳児保育の試験的実施の検証は、現在効果と課題についてまとめ、報告ができるよう行っているところで、就学前施設の状況や子どもたちの動向を含めて慎重に見極める。



今後の展望

幼稚園児割合は4,5歳の半数程度だが、今後の減少を考えると**公立幼稚園の存続も危うい**と考える。
ニーズの拡大に向けて3歳児保育や預かり保育の拡大、広報強化を求めました。

その他の質問

学校園のIT活用について

